


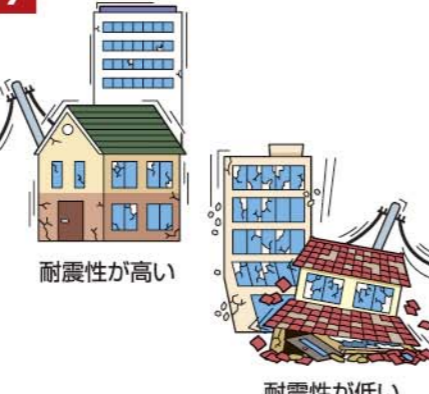


震度と被害想定

地震がおきたらその時どうする

0	<p>【震度0】 人は揺れを感じない。</p> 	1	<p>【震度1】 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p> 	2	<p>【震度2】 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。</p> 	3	<p>【震度3】 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。</p> 
----------	---	----------	--	----------	--	----------	---

4	<p>【震度4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。 	6弱	<p>【震度6弱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>耐震性が高い</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>耐震性が低い</p> </div> </div>
----------	--	-----------	---

5弱	<p>【震度5弱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 	6強	<p>【震度6強】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>耐震性が高い</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>耐震性が低い</p> </div> </div>
-----------	---	-----------	---

5強	<p>【震度5強】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●物につかまらなさと歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本で落ちるものが増える。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。 	7	<p>【震度7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>耐震性が高い</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>耐震性が低い</p> </div> </div>
-----------	--	----------	--

状況による的確な行動

地震がおきた時、あわててむやみに行動するとかえって危険です。緊急地震速報を活用したり、報道等で正しい情報を入手して、冷静に状況を判断して的確な行動をしましょう。

家庭では

まず身の安全を!!

頭を保護し丈夫な机の下などに身を隠します。家具の転倒や落下物には十分に注意します。



火の始末や電気のブレーカーの確認

揺れがおさまったら、あわてずにガス器具などの火を消します。避難時は、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とします。(地震発生時に使用していた電気ストーブなどの電気器具から出火する恐れを防ぐためです)



戸を開けて出口の確保

揺れでドアが開かなくなるともあります。玄関、部屋のドア、窓などを開けて避難口を確保します。



あわてて外に飛び出さない

外ではガラスや瓦などが落ちてくることがあります。冷静に状況を判断します。



近くにケガ人がいたら

地域全体で助け合い、救出活動や応急救護に協力します。



人が大勢いる施設では

あわてて出口に走り出さず、係員の指示に従って落ちついて行動します。



路上や街中にいる場合

ブロック塀や自動販売機の転倒に注意し、看板や割れたガラスの落下にも注意します。ビルなどの建物から離れ、持ち物や両手で頭を守り、近くの公園や広い場所に避難します。



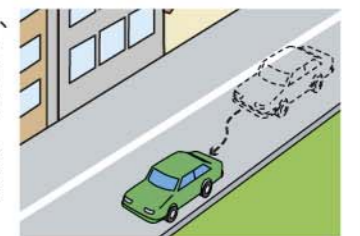
エレベーターの中では

ただちに各階のボタンをすべて押し、停止した階ですぐに降ります。停電などで閉じ込められた場合は、非常ボタンを押し続け外部に助けを求めます。



自動車を運転中は

大きな揺れを感じたら、あわててスピードを落とさず、ハザードランプを点灯させて、周りの車にも注意を促します。急ブレーキはかけず、緩やかに速度を落として道路の左側に停止します。



鉄道やバスに乗車中は

つり革や手すりにしっかりとつかまります。乗務員などの指示に従って落ちついて行動します。

